

ちきゅうのこどもほいくえん 年間テーマ『ゆめとところを膨らまそう』 1歳児 「やってみたいな いーっぱい」
2歳児 「ひとりですの てつだってね」

IC (1.2 歳児) 〇〇

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に最後の月になりました。寒さの中元気に遊ぶ子どもたちの姿に、この1年での成長を感じます。今年1年、どうもありがとうございました。今年も残りわずかですが、感染症が流行する時期でもあるので、子ども達と共に、手洗いうがいを丁寧にこなしていこうと思います！

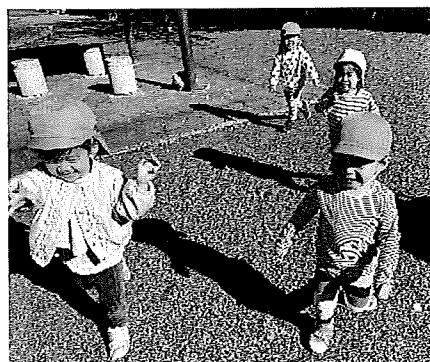


11 月の子どもの姿



大掃除

ぬれている床に気づき、雑巾で丁寧に床を拭く姿、のり貼りで使った筆を洗う姿。自分の過ごしている環境に貢献しようと、お掃除を楽しんでいます。自分で掃除した場所を見て、笑顔を浮かべ拍手をしているお友だちもいました。今月末には机や椅子、床や窓等もみんなで大掃除します！普段使っているほうきやちりとり、雑巾等を使ってピカピカにして気持ちよく新年を迎えたいと思います。ぜひともご家庭でも一緒にお掃除してみてくださいね。



散歩

季節はすっかり冬になり、近頃は小川沿いで魚の観察や、秋色に変化した落ち葉集めをしました。園周辺ではどんぐり拾いをしました。どんぐり帽子を見つけると、「みてみて」と笑顔で頭にのせて、見せてくれるお友だちもいました。とちの実やムクロジ、まつぼっくりをお部屋で観察する子ども達の姿も。まつぼっくりを水につけて、かさが開いたり閉じたりする様子を観察した時には「すごいね！」と目を丸くして驚く子どもの姿も見られました。今月からはイチョウ山にもお散歩に行き、実際に自分たちでムクロジやとちの実を集めたり、自然探索を楽しむ予定です。



お仕事紹介 言語

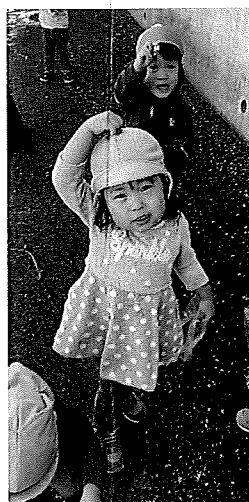
言語は、感覚的な体験がベースとなり発達していきます。例えば、「おうち」と聞くと、自分の家が頭に浮かぶ人が多いと思います。私たちは話す時に、過去の体験（色、形、大きさ、匂いなど）を集め「おうち」という単語に含めて話しています。感覚的な体験が多いほど、言語表現が豊かになっていくということです。そのため、IC ではたくさんの本物に五感を使ってじっくり触れられる機会を大切にしています。



殻を剥いて種を見つけました。「あった！」と発見に目を輝かせ、「小さいね」「かたいね」と何度も触り探索に夢中な子ども達です。

移行の様子

子どもたちの月齢に合わせて、移行を行なっています。幼児棟に行っているお友だちもいれば、最近ではだい組(0 歳児クラス)からも、月齢や発達に合わせて IC への移行が始まり、1 日一緒に過ごしてるお友だちもいます。「〇〇君、みてみて」と小さなお友だちを優しく誘ってくれたり、「こっちょ」と分からない事を教えてくれる姿もありました。これからも、子どもたちが安心して新しい環境に移行していけるよう、子ども達に寄り添って移行を進めていきたいと思っています。



年末年始の過ごし方

年末年始の1週間程のお休みが今年もあります。大人のペースになりがちですが、子どもたちの生活リズムを崩さずお過ごし頂けますよう、よろしくお願い致します。そして、子ども達は日々、様々な事が自分で出来るようになっていきます。いつもよりお時間がとれるようでしたら、着脱や身の回りのことに自分で取り組めるように見守ったり、お手本を見せてあげてください。

今月のうた

ジングルベル
お正月

おたんじょうびおめでとう！
3日 しょうえいくん 2歳
24日 みさちゃん 3歳